

参考資料 5

「電子申請（税申告）、電子申請（オンラインレセプト）のCO₂削減効果の算出について」

はじめに

2006年1月にIT戦略本部において、「IT新改革戦略」¹²が策定された。本戦略では、更なるITの積極的利活用による課題解消と飛躍を行い、結果として、国民生活や産業競争力の向上の実現とともに、世界のIT革命を先導するフロントランナーとして国際社会に貢献することを目的としている。具体的な取り組みとして、少子高齢化や環境問題など、現在わが国が直面している様々な社会的課題に対応していくために、基本理念に基づいた3つのIT政策群が示されている。この中に、「行政サービスの電子化を徹底し、便利で、簡素・効率的かつ透明な小さな政府を実現する社会」という政策がある。それぞれの社会実現について、実現方策とともに実現目標としての評価指標が示されているのが本戦略の特徴である。例えば、「国・地方公共団体に対する申請・届出等手続におけるオンライン利用率を2010年度までに50%以上とする」などがあり、2007年4月にIT戦略本部から「IT新改革戦略 政策パッケージ」に展開し、国民が実感できる実現目標として、「国・地方の枠を超えた電子行政窓口サービス」を掲げている。

本項では、電子行政窓口サービスとして現在普及しつつある、e-Tax、eLTAX（この2つを電子申請（税申告）という）、オンラインレセプトサービス（電子申請（オンラインレセプト）という）の環境負荷低減効果について述べる。

1、評価方法

（1）e-Tax

e-Tax（国税電子申告・納税システム）とは、あらかじめ開始届出書を提出し、登録すれば、インターネットで国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続ができるシステムである。e-Tax によって申請手続き等が電子化されることによってペーパーレス化が図られ、これまでの申請書類の保管も不要になる。また手続きのための郵送や持参による移動が軽減され、電子的に手続きすることにより業務が効率化される。本評価では、これらの環境負荷削減効果を e-Tax の利用実績や、国税庁などの統計資料を活用して、算出した。評価対象は、以下の7つの申告である。

- ① 法定調書（年末調整・源泉徴収）
- ② 確定申告
- ③ 法人税

¹² IT戦略本部：<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/060119honbun.pdf>

- ④ 消費税（個人）
- ⑤ 消費税（法人）
- ⑥ 酒税
- ⑦ 印紙税

(2) eLTAX

eLTAX とは、図 1 に示すように、地方税における手続きを、インターネットを利用して電子的に行うシステムである。地方税の申告、申請、納税などの手続きは、今までそれぞれの地方公共団体で行う必要があった。eLTAX を利用することで、電子的な一つの窓口からそれぞれの地方公共団体に手続きできるようになる。eLTAX によって申請手続き等が電子化されることによってペーパーレス化が図られ申請書類の保管も不要になる。また手続きのための郵送や持参による移動が軽減され、電子的に手続きすることにより業務が効率化される。本評価では、以下の 4 つの提出や申告に対して、総務省統計局などの統計資料を活用し、環境負荷低減効果を算出した。

- ① 企業の給与支払報告書の提出
- ② 法人都道府県民税・事業税
- ③ 法人市町村民税
- ④ 固定資産税

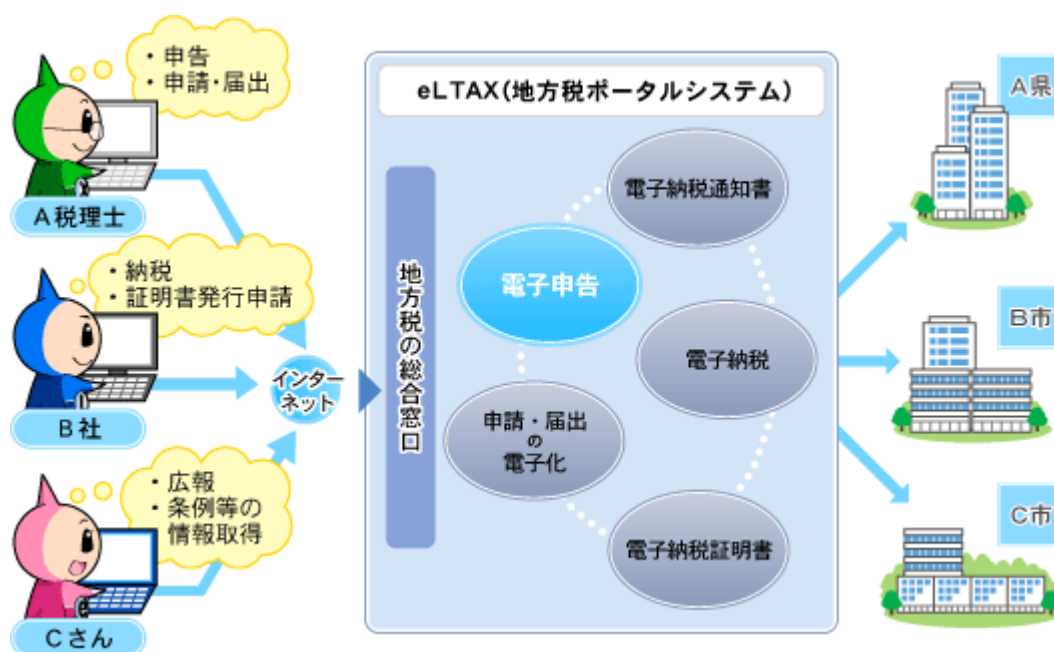


図 1 : eLTAX (「eLTAX (エルタックス) : 地方税ポータルシステム」HP より
<http://www.eltax.jp/outline/index.html>)

(3) オンライン・レセプト

医療機関や保険薬局においては、診療報酬（レセプト）の請求事務をはじめ、患者受付け、窓口会計、医薬品在庫管理といったさまざまな分野においてコンピュータを活用し効率化を進めているが、診療報酬の請求には、電子情報を紙レセプトに印刷して行っている。そのため、診療報酬請求に関する業務は、依然として多くの人手と時間を要しており効率化が図られていないのが現状である。そこで IT 新改革戦略では、IT による医療の構造改革として、2011年度当初までに、レセプトの完全オンライン化により医療保険事務のコストを大幅に削減するとともに、レセプトのデータベース化とその疫学的活用により予防医療等を推進し、国民医療費を適正化することを目標としている。これらの実現により、紙レセプト不要化に伴うペーパーレス化、紙レセプト保管の不要化、そして紙レセプト郵送の削減という環境負荷削減効果が期待できる。現在は、レセプト情報を電子的に記録したMO等の媒体を郵送するレセプト電算処理システムが普及しており、将来的に上記に示した目標でオンライン化される。本評価では、医療施設（動態）調査などの厚生労働省の統計資料などを活用して、上記に示す環境負荷削減効果を評価した。

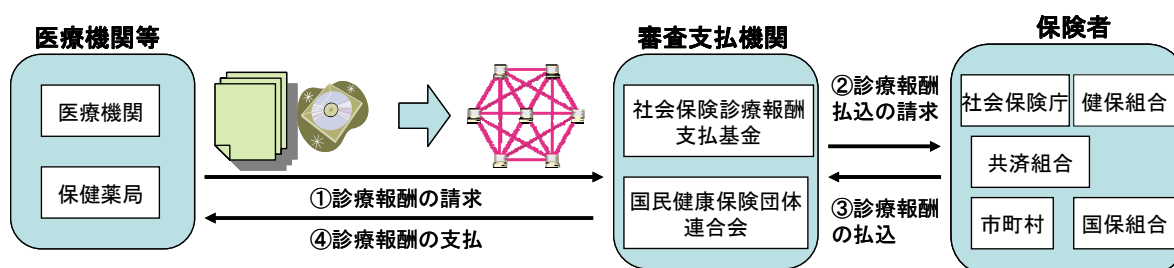


図2：オンラインレセプト

2、評価結果

評価結果を表1に示す。2012年で、eLTAXは約3万1千トンのCO₂削減効果が期待できる。またe-Taxは、約4万5千トンのCO₂削減効果があると考えられる。これらのほとんどが、業務効率化であり、事務処理の効率化がこれらのシステムの大きな機能であり、これら2つのシステムではペーパーレス化や郵送の不要化、保管スペースの削減による環境負荷低減効果は小さい。移動の削減によるCO₂削減効果は、e-Taxで約1,600トンあるが、これは確定申告による人の移動による効果が主である。オンラインレセプトは、約1万2千トンのCO₂削減効果があり、ペーパーレス化による効果と書類の保管スペースの削減がほとんどを占めている。

表 1 : 評価結果

【t-CO2】

	eLTAX				
	脱物質化 (ペーパーレス化)	業務効率化	移動の削減	保管スペース削減	合計
2006	0.240	0	0.456	0.231	0.927
2010	121	30,675	254	116	31,166
2012	121	30,777	254	116	31,268

	e-Tax				
	脱物質化 (ペーパーレス化)	業務効率化	移動の削減	保管スペース削減	合計
2006	4.5	727	76.7	4.4	813
2010	112	43,429	1,489	107	45,137
2012	115	43,587	1,582	111	45,395

	オンライン・レセプト					
	脱物質化 (①-②)			移動の削減	保管スペース削減	合計
		①ペーパーレス化	②電子媒体利用*			
2006	1,416	1,596	180	0	1,097	2,513
2010	6,386	6,386	0	883	4,388	11,657
2012	6,562	6,562	0	908	4,510	11,980

*レセプト電算処理システムで用いるMOなどの電子媒体によるCO2排出量